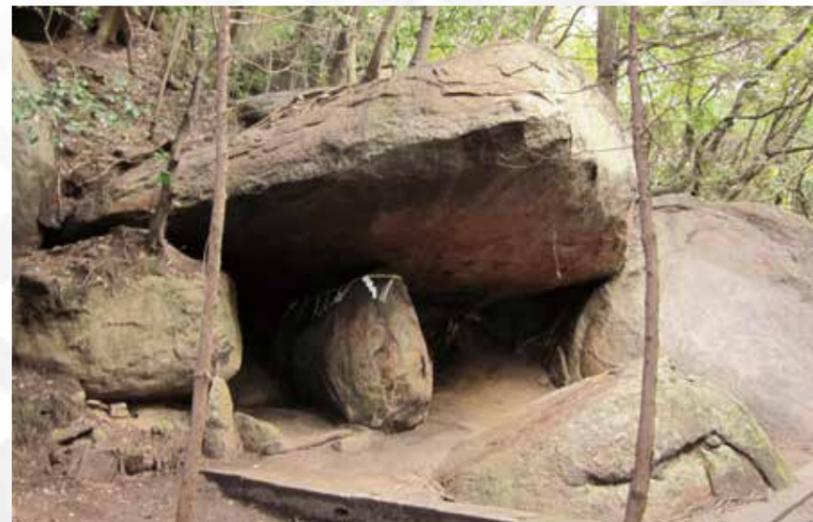




▲獅子窟寺

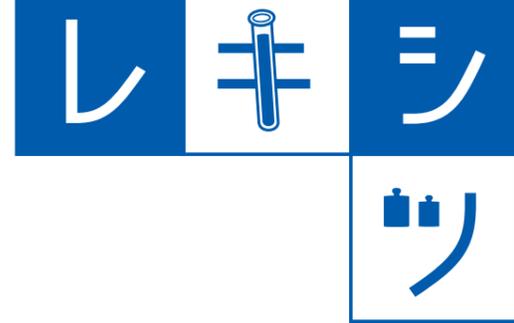
交野には「八丁三所」という星降り伝説があります。これは、その昔、弘法大師が私市の獅子窟寺で修行しているとき、北斗七星が星田の光林寺、星の森、妙見山の3か所に降るのを見たというもので、星が落ちた所同士の距離がそれぞれ八丁(約880<sup>米</sup>)であるために「八丁三所」と名付けられたものです。今回はこの伝説に関わる歴史×地質を紹介します。

獅子窟寺がある私市の山も交野三山と同じく花崗岩でできた山で、巨石が多くあります。その巨石が組み合わさったものが、口を開けた獅子の姿に見立てられて「獅子の岩」と呼ばれ、岩の隙間の空洞が「獅子窟」と呼ばれるようになりました。弘法大師は、この獅子窟の中で修行をしていたといわれています。



▲獅子の岩

歴史×地質



また、現在でも獅子窟寺からの見晴らしは良く、大阪平野まで広く見渡せます。弘法大師が修行をしていた頃は、町明かりもなく広く星空が見えたことでしょう。

この山が修行の場でなければ弘法大師は修行に来なかったでしょうし、眺めの悪いところであれば星が降るのが見えません。「修行の場」と「眺望」この2つの条件が合わさったことが、星降り伝説を生む元になったと考えられています。

獅子窟寺には国宝に指定されている薬師如来坐像があります。普段は拝観に事前予約が必要ですが、お正月の三が日は無料で自由に拝観できます。貴重な国宝を見学しがてら、立派な巨石群も一緒に見て回ってはどうでしょうか。



▲薬師如来坐像

☎ 社会教育課文化財係 ☎893-8111

# さうだ、きさいち植物園に行こう!



レンギョウ

中国原産の落葉小高木で、よく公園などに植えられています。葉は向かい合って生え、しばしば3個の小葉に分裂し、葉の縁にはギザギザがあります。花は葉のつけ根に1個付き、春に先だって黄色い花を咲かせます。



ウグイスカグラ

北海道南部から本州の山地に分布し、鑑賞のため公園などにも植えられる落葉小高木で高さは1.5~3mくらいになります。花は葉が出ると同時に、葉のつけ根から花をささえる茎が出て、淡紅色の花を咲かせます。



冬の樹木

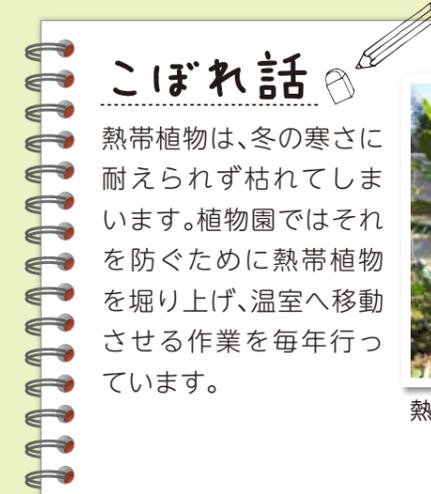
冬の樹木は常緑樹が葉をつけているのに対し、落葉樹は葉を落としていますので、木の種類がなかなかわかりません。そこでそれを調べる方法の一つとして冬芽と葉が付いていた跡を観察する方法があります。



冬のメタセコイア

12月の初めにレンガ色に染まる紅葉のピークを迎え、1月には全ての葉を落とします。その後、2月になると雌雄異花の花を咲かせます。雄花は黄褐色で長く垂れ下がり、雌花は緑色となります。

※気象状況により開花時期が前後しますので、植物園にお尋ねください。



## こぼれ話

熱帯植物は、冬の寒さに耐えられず枯れてしまいます。植物園ではそれを防ぐために熱帯植物を掘り上げ、温室へ移動させる作業を毎年行っています。



熱帯植物の掘上作業



温室への運搬



温室への取り入れ

イベント情報

2月20日(木)~3月1日(日) 植物園写真展  
(写真募集:1月21日(火)~2月13日(木))  
2月22日(土) ウメの観察会

詳細は当園ホームページ  
(<https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>)をご覧ください。

大阪市立大学理学部附属植物園  
愛称: きさいち植物園

〒576-0004 私市2000  
☎891-2059 ☎891-2101  
✉b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

ご利用案内 ★65歳以上の市民は、登録いただくことで入園料が無料になります(植物園メイト)。

- 開園時間: 9:30~16:30(入園は16:00まで)
- 休園日: 毎週月曜日(休日の場合は開園)
- 入園料: 大人350円(中学生以下は無料) 団体(30人以上) 280円

- 駐車料: 普通車500円/マイクロ1,000円/バス2,000円
- アクセス: 京阪電車交野線「私市駅」下車徒歩約6分 JR学研都市線「河内磐船駅」下車徒歩約20分

★詳細は、ホームページでもご覧いただけます。

Web: <https://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>